

此岸シガン(迷いの世界・現実)から彼岸ヒガン(悟りの世界)に渡る修養期間として、「お彼岸」がある。彼岸に渡るには六つの修行フ セ ジカイ ニンニク ショウジン センジョウ チ エ(布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧)をつまねばならないが、そのうちの布施フ セについて考えてみよう。

布施は、お金や品物に執着している、その執着心をとりのぞくためにする。決して相手にめぐんでやるものではなく、相手に施しをさせて頂くものである。相手に情けをかけるものではなく、みにくい自分の執着心を捨てるために、つまり自分自身のためにするものである。それは金品に限らず、他人に優しい言葉をかけたり、笑顔で接したりと、誰にでも出来る修行である。まして、代償を求めたり、恩に着せることがあっては、布施とはいえない。この執着心を捨てようとする心が大切といえよう。

布施ソウリョは僧侶に渡す金銭ばかりではないのです。